

JCDかわら版

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

「地区の会が10周年を迎え」

広報部会長 名倉 昭三

各地区の診断士会が10周年を迎える中、私達が創めた静岡の会（SCD）も昨年10周年を迎える事が出来ました。その間、全国組織であるこの（一社）日本コンクリート診断士会（JCD）も発足され、地区の仲間だけでなく、全国に大勢の同朋が出来た事は私の人生にとって大変大きな喜びであります。

私は現場で汗水垂らしてコンクリート構造物を作っても、ひび割れが発生すれば犯罪者の様に扱われる事が悲しくて資格を取得しSCDを設立しました。最初は、資格者数も少なく会も小さなものでしたが、10年という月日と皆様のおかげで少しは世間に認めて頂ける団体へと成長したものと自負しております。また、JCDの一員とさせて頂き、全国の皆様と意見を交換する中で新しい考え方や、将来への夢を持つ事が出来る处であることが楽しくもありました。

私が創ったSCDは、あくまでも企業等の枠と違った個人の集まりの会であったと思います。これからの時代は、個々の技術者が認められる時代であって欲しいという願いがあるからかも知れません。全国の皆様は如何でしょうか？

次々に地区診断士会が設立10周年を迎える中、JCDももう少しで10年の節目を迎えようとしています。その中で私が願う事は、私達が切り開いたこの場所を、耕し、育て、花を咲かせてくれる次世代の開拓者が大勢集まり、私がこの会で経験したような喜びを、私と共有して頂きたいという事です。

JCD広報部会長として、今まで以上に職務を努めさせて頂く所存ではありますが、皆さま一人一人の力が一番大きな力だと思っておりますので、この「かわら版」を出来るだけ多くの方が読んで頂けるようご協力頂ければ幸いです。今回も自信作ですので、最後までお付き合い頂ければと思います。

活動近況

2017.11.17

第5回業務体験発表会
（名古屋開催）

2017.11.18

名古屋地区現場見学会
（東海+東京診断士会共催）

詳しくはHPをご覧ください

<http://www.jcd-net.or.jp/>

地区診断士会の紹介



宮城県コンクリート診断士会

<http://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/mcd/index.html>

設立・会員数

宮城県コンクリート診断士会は、平成26(2014)年3月13日設立し、今年で3年目を迎えます。会員数は95名、法人会員は6社となっております。

会長: 武田三弘(東北学院大学)

副会長: 渡辺弘子(月の泉技術士事務所)

事務局長: 吉田博輝(吉田レミコン)

幹事・監事: 9名

会員数: 95名

法人会員: 6社

活動内容

- ①技術講習会(H29年4月20日, 12月予定)
- ②現場研修会(山形県上山市)
- ③法人会員による診断業務依頼(随時)
- ④情報交流会(懇親会)



技術講習会



H29年度総会風景



現場研修会

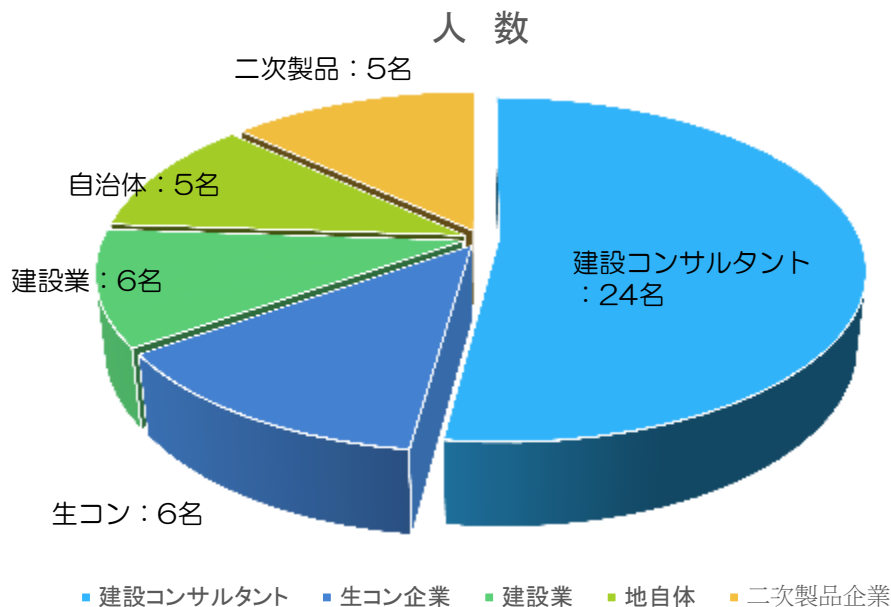


現場研修会集合写真

地区診断士会の紹介

(一社) 熊本県コンクリート診断士会

正会員：46名 賛助会員：13社 顧問：5名



※ 経過～活動状況

平成24年7月、県内コンクリート診断士21名が集まり、任意団体熊本県コンクリート診断士会を設立した。その年の10月には第1回コンクリート技術講習会を開催し100名近い参加者を得た。¹⁾その後例年、コンクリート技術講習会を開催している。また、(一財)熊本県建設技術センター主催のコンクリート品質管理(受・発注者対象)への講師派遣を例年行っている。²⁾更には、業務報告会(隔年)³⁾、現場見学会(毎年)⁴⁾を通じて知見吸収にも努めてきた。平成28年度からは県内のコンクリート診断士の有資格者の輩出を目的にコンクリート受験直前対策講座を開催し、全国平均を上回る合格率を得ている。⁵⁾上記の活動も今後も継続強化していきたいと考えている。

地区診断士会の紹介

平成26年7月発刊「初期ひび割れ（初期欠陥）に関する考え方」⁶⁾、平成27年6月発刊「コンクリート診断士試験に向けて」⁷⁾を自治体及び関係機関等に配布した。

最後に本年6月19日、一般社団法人 熊本県コンクリート診断士会として登記を完了した。

今後は地域における専門家集団として地域における疑問・質問あるいは課題等に第三者的な立場で公正・公平に取り組んで行きたいと考えている。

文責：勇 秀忠



1) コンクリート技術講習会風景（H24年10月）



2) 県技術センター講習風景



3) 業務報告会風景



4) 現場見学会風景
（新天門橋）

JCD部会活動紹介

企画部会

<2016年度の活動報告>

- **部会長会議の開催**(2016年11月25日、2017年3月27日)
定例の部会長会議で、大きな問題なく開催することができました。
- **「コンクリート診断士のこれからを考える会」の企画および運営**
初めての取り組みで、各地の診断士会活動を会員の皆様に伝えることができました。
- **日本コンクリート工学会主催「コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムⅣ-サステナビリティフォーラム各団体の創造的挑戦」の資料作成および発表**
JCIなど他の団体に当協会の活動を伝えることができた、貴重な活動でした。

<2017年度の活動予定>

各部会と連携協調して、さらなるJCDの活性化を目指します。昨年開催できなかった、JCIとの意見交換会を今年度は開催します。

- **日本コンクリート工学会との意見交換会の開催**
昨年は開催できなかったため、今年度は開催を強力に進めていきます。
- **部会長会議の開催**
定例の部会長会議を今年度も開催します。
- **2018-2019年度 任期 理事・監事の選定に関する方針の検討(総務部会との連携)**
理事・監事の定員数の件などを、部会長会議で検討します。
- **会員数を増加させるための方策の検討とその活動(会員部会との連携)**
まだ診断士会が設立していない地区への働きかけや、会員数増加の方策について、会員部会と連携しながら検討していきます。

企画部会 副部会長 岡崎勝信

診断士関連記事紹介

コンクリート工学・日経コンストラクション・土木学会誌等に掲載された記事の紹介です

※H29.7よりH27.9までをピックアップしています



【日経コンストラクション】

巻, 号	タイトル
2017.7.10	床板補強の炭素繊維シートが7カ月で剥離
2017.7.10	コンクリートの打音検査でAIが判定
2017.7.24	パトロール中の常時撮影で路面損傷検出
2017.8.14	医療の画像解析をコンクリートに
2017.8.28	維持管理とAIは相思相愛！？
2017.8.28	トンネルの打音検査は機械学習で
2017.8.28	幅0.2mm以上のひび割れを高精度に検出
2017.8.28	「瞬間診断」の時代が来る
2017.9.25	老朽化で撤去・廃止は92橋
2017.9.25	車の振動から床板内部の損傷を推定

【セメントコンクリート】

巻, 号	タイトル
No.844	高強度かつ高耐久性のセメント系繊維補強材料「タフショットクリート」の開発～ノンポリマーで圧縮強度100N/mm ² , 耐用年数50年, 左官・吹付け併用断面修復工法～
No.844	社会インフラを取り巻く社会構造の変化と コンクリート構造物の長寿命化と維持管理 [その36道路法面の吹きつけコンクリートの現状と維持管理②]
No.845	ドリル削孔粉を利用した コンクリート内部のpH低下深さ推定方法
No.845	社会インフラを取り巻く社会構造の変化と コンクリート構造物の長寿命化と維持管理 [その37道路法面の吹きつけコンクリートの現状と維持管理②]
No.846	下水管路内表面の水分からコンクリートの劣化機構を考察する
No.846	社会インフラを取り巻く社会構造の変化と コンクリート構造物の長寿命化と維持管理 [その38下水道施設の現状と維持管理①]
No.846	社会インフラを取り巻く社会構造の変化と コンクリート構造物の長寿命化と維持管理 [その39下水道施設の現状と維持管理②]

診断士関連記事紹介

コンクリート工学・日経コンストラクション・
土木学会誌等に掲載された記事の紹介
です



【コンクリート工学】

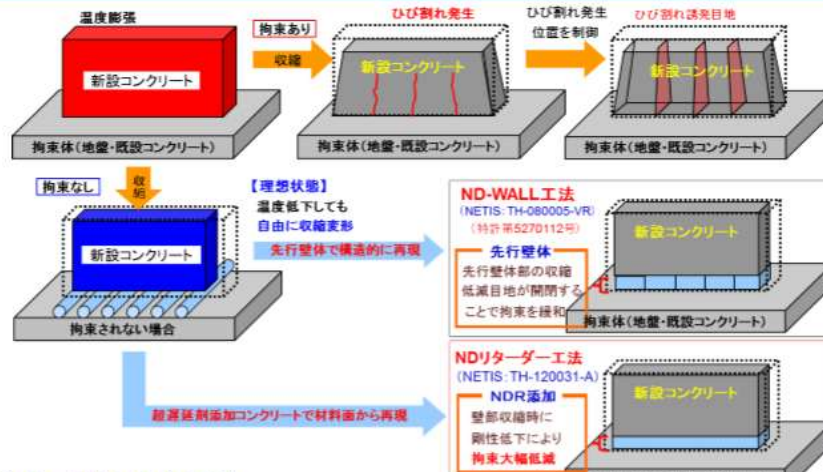
巻, 号	タイトル
Vol.55, No.7	土木学会「道路橋床版防水システムガイドライン2016」の概要
Vol.55, No.7	コンクリート関連産業におけるサステナビリティ (2) サステナビリティ関連規格の開発状況
Vol.55, No.7	鋼材が腐食したPCはりの曲げ耐荷特性に関する研究事例
Vol.55, No.8	斜材点検用非破壊検査装置の開発と運用
Vol.55, No.8	コンクリート関連産業におけるサステナビリティ (3) LCA・LCCの基本と適用例
Vol.55, No.8	表面含浸材によるコンクリート構造物の劣化抑制効果に関する海外の研究事例
Vol.55, No.9	相互に連結するインフラ施設の設計施工と維持管理事業の未来

【土木学会、土木学会論文集】

出典	巻, 号	タイトル
土木学会誌	Vol.102, No.7	特集 コンクリートから未来への貢献-さらなる環境負荷低減の実現に向けて-
土木学会誌	Vol.102, No.7	ASCEインフラレポートカード2017が公表されました
土木学会誌	Vol.102, No.8	都市における地下空間の維持管理-長寿命化と次世代への更新に向けて-
土木学会論文集E2	Vol.73, No.3	沖縄県の海岸線に11年間暴露したフライアッシュコンクリートの耐久性に関する研究
土木学会論文集E2	Vol.73, No.3	化学的作用に伴うセメント硬化体中の鉱物の変質と物質移動特性
土木学会論文集E2	Vol.73, No.3	続繊維ロープを用いた既設鉄筋コンクリート橋脚の耐震補強法に関する実験的研究
コンクリート工学論文 文集	Vol.28	衝撃弾性波法による火害を受けたコンクリートの劣化評価方法に関する基礎的研究
土木技術資料	Vol.59, No.7	維持管理段階におけるCIMモデルの有効性の検証
土木技術資料	Vol.59, No.7	首都高速1号羽田線(東品川栈橋・鮫洲埋立部)更新工事の概要～技術提案の審査 及び価格等の交渉による方式の適用事例紹介～
土木技術資料	Vol.59, No.8	土木構造物のメンテナンスと先進技術の活用
土木技術資料	Vol.59, No.8	現行のロボット技術等による橋梁点検を支援するためのインフラ構造の検討
土木技術資料	Vol.59, No.8	ロボット技術等によるトンネル点検を支援する覆エマーカーの研究
土木技術資料	Vol.59, No.8	インフラ用ロボット情報一元化システムの構築
土木技術資料	Vol.59, No.8	橋梁点検におけるインフラ点検ロボットの導入状況
土木技術資料	Vol.59, No.8	軟弱地盤上の橋台基礎の健全度評価に関する実験および解析
土木技術資料	Vol.59, No.9	インフラ維持管理の「地域格差」
土木技術資料	Vol.59, No.9	インフラのモニタリングシステムの開発とリクワイアメント
土木技術資料	Vol.59, No.9	コンクリートの中性化に関する全国暴露試験
土木技術資料	Vol.59, No.9	ケーブル損傷を模擬したPC箱桁橋の残存耐力評価
土木技術資料	Vol.59, No.9	富山市五福4号橋におけるモニタリング技術の現場実証
土木技術資料	Vol.59, No.9	東北自動車道大森川橋におけるモニタリング技術の現場実証
土木技術資料	Vol.59, No.9	既設PC橋のグラウト充填調査のポイント
国交省	29.8	道路メンテナンス年報

新技術等の紹介

施工性の向上とコストダウンを実現するひび割れ対策技術



■NDリターダー工法

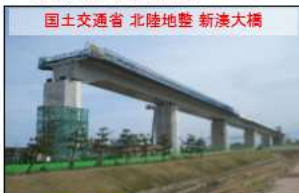


コンクリート構造物の品質と耐久性向上

■フィニッシュコート

NETIS: KT-080003-VE

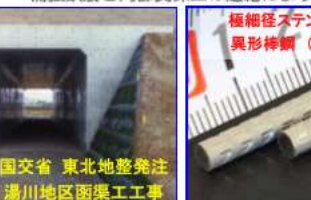
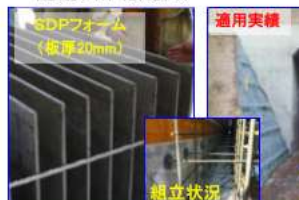
膜養生効果によるプラスチック収縮ひび割れの抑制
コテ滑りの改善によるコンクリート仕上げの作業性向上



■SDPフォーム

NETIS: TH-120024-A

ステンレス鉄筋を補強材とした鉄筋コンクリート構造の高耐久性埋設型枠
補強鉄筋と内部支保工の連結により後打ちコンクリートと確実に一体化



■資格取得支援

コンクリート主任技士、診断士受験対策本の出版、講座開催



■コンクリート技術大会



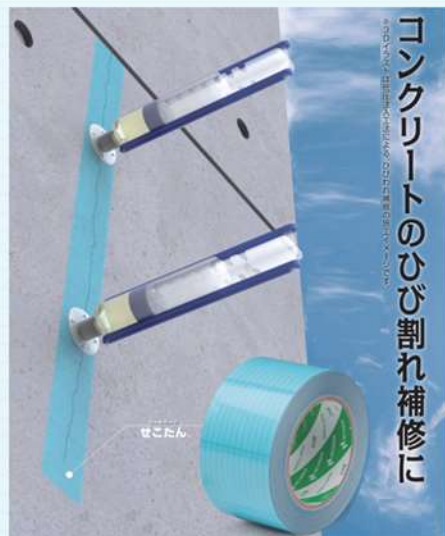
新技術等の紹介

ひび割れ補修用 目止めシールテープ

低圧注入工法用「シール材」

シールテープ
せこたんTM
CS-5010

- ① 養生時間が短く工期短縮が可能
- ② 目盛付だから座金の位置決めがラク
- ③ 透明だから注入状況が確認しやすい
- ④ 施工後のはく離が容易
- ⑤ アトが残らず仕上がりきれい



従前までの施工



- シール材が硬化するまで1日かかる
- はがすときに手間がかかる
- 注入状況が確認しにくい

せこたんTM 使用例



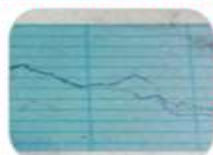
5つのメリットで作業効率アップ！
コンクリートひび割れ補修
の工程が変わります。

せこたんTM 専用プライマー:

せこたんTMのコンクリートへの付着性を高める下塗塗料です。下処理後のコンクリートに塗布してください。



工期短縮



座金固定目盛付



注入状況
確認



はく離が
容易



仕上がり
きれい

※注入材はエポキシ系の補修材を使用してください。



FOR BETTER BEING
いつも笑顔でいたいから——ニチバン

ニチバン株式会社

テープ事業本部

〒112-8663 東京都文京区関口 2-3-3

☎(03)5978-5633

JCD・地区診断士会からのニュース

福井県コンクリート診断士会

- ・ 平成 29 年 6 月 24 日
コンクリート診断士受験対策セミナー 記述対策編(共催:福井県建設技術公社)を開催しました。
- ・ 平成 29 年 6 月 26 日
定期総会および「学校教育における人材育成と UAV を用いた現地調査支援に関する研修会」を開催しました。
- ・ 平成 29 年 8 月 7 日
福井県道路メンテナンス会議の講習会に講師を派遣しました。
- ・ 平成 29 年 8 月 9 日
「平成 29 年度 技術交流会」を開催しました。
- ・ 平成 29 年 8 月 23 日
「株式会社ホクコン 武生工場 工場見学会」を開催しました。
本年度は、すでに 5 回の研修会を終了しました。
また、JCI 中部支部の調査研究事業として、「北陸三県コンクリート診断士会との協働による早期劣化コンクリート構造物の診断と対策のための人材育成事業」が採択されました。

鳥取県コンクリート診断士会

昨年は、鳥取県中部を中心に発生した地震(最大震度 6 弱)の影響で、地区診断士会としての活動はほとんど出来ておりませんでした。本年はその反動もあり、多くのイベントを企画しています。

9 月 16 日(土):鳥取県・島根県コンクリート診断士会合同研修会、9 月 20 日(水)「現場で役立つやさしい構造力学」講師派遣、9 月 22 日(金)橋梁下部工新設現場見学、10 月 19 日(木)鳥取工業高等学校座学「社会資本維持管理の現状について」講師派遣、10 月 20 日(金)座学「トンネル点検と補修技術」「鋼橋の維持管理」開催、10 月 27 日(金)米子工業高等学校生徒_橋梁詳細調査現場見学、11 月 14 日(火)倉吉農業高等学校座学「社会資本維持管理の現状について」講師派遣 を実施する予定です。

島根県コンクリート診断士会

・設立十周年記念大会を機に、山陰両県(鳥取・島根)では毎年合同研修会を企画し、今年は第2回大会として先般松江市にて開催いたしました。講師は各県1名ずつの会員による研究成果報告と、前田工織(株)顧問 内田明氏による特別講演「コンクリート工事 基本を守り・工夫する」及び基調講演は福岡大学 古賀一八教授による「目視によるコンクリート構造物劣化の見分け方」、追加講演としてニチバン(株) 市村氏による「シールテープを用いたひび割れ補修材低圧注入用工法」の商品説明といった多彩な内容の研修会を50名の参加者を得て開催いたしました。

JCD・地区診断士会からのニュース

東京コンクリート診断士会

7月26日(水)JCIにおいて、第21回技術セミナーを開催し、小野会長の「ひび割れに着目したコンクリートの診断」、東洋大学福手教授の「少子高齢化時代のインフラメンテナンスの現状と課題」等の講演があり、53名が参加した。

8月11日(祭日)役員会を開催いたしました。

10月5日(木)第2回技術フォーラムを開催いたします。

NPO 法人大分県コンクリート診断士会

8/25 現場見学会を実施。(国道210号線の床版取替工事他)

11/2 技術講演会を実施。

・日時 平成29年11月2日(木) 13:00~17:00

・場所 コンパルホール 3階 多目的ホール(300名収容)

大分市府内町1丁目5番38号

※大分診断士会のHPに受講案内を掲載しております。是非ご参加ください。

静岡コンクリート診断士会

・6月23日(金)に通常総会と技術研修会を開催しました。

・11月1日(水)に研修会を開催いたします。

・年内には見学会を予定しております。

新潟県コンクリート診断士会

① 9月6日(水) 平成29年度第1回現地研修会として新潟バイパスのコンクリート構造物におけるASR損傷状況の視察及び意見交換会を実施しました。(参加者:会員他34名)

② 11月16日(木) 新潟県中越地区を対象とする第2回現地研修会を開催します。

広島県コンクリート診断士会

平成29年6月19日~7月19日 広島 平和記念公園内の平和の灯の補修工事を、(一社)コンクリートメンテナンス協会と共同でボランティアにて実施。参加者46名

平成29年8月28日広島市新入土木職員向け「コンクリート品質管理研修」に講師を派遣。受講者43名

平成29年9月13日 第4回コンクリート探偵会を実施。探偵参加者7名。発表会参加者約30名

JCD・地区診断士会からのニュース

福岡県コンクリート主任技士・診断士会

平成 29 年 5 月 19 日(金) 第 2 回通常総会(平成 29 年度)を開催しました。

平成 29 年 5 月 27 日(土)・28 日(日) 平成 29 年度 コンクリート診断士受験・診断技術講習会を開催しました。

平成 29 年 10 月 7 日(土) 平成 29 年度 コンクリート技士・主任技士受験対策講習会を開催予定です。

高知県コンクリート診断士会

・6 月 2 日(土)3 日(日)2017 年度コンクリート受験対策講座

大学教授等 5 名の講師陣による、論文を中心とした受験対策および会員のブラッシュアップ講座を 2 日間行いました。参加者は 20 名。

・6 月 24 日(土)平成 29 年度通常総会・研修会を開催しました。参加者は 30 名

・8 月 4 日(金) 平成 29 年度土木技術職員研修会(県、市町村技術職員対象)に横田副会長が講師として参加しました。

・8 月 25(金)26(土)「山口県視察」高知県土木施工管理技士会との共催で、山口県におけるコンクリート構造物のひび割れ抑制、品質確保の取り組み「山口方式」の視察を行いました。参加者 44 名(診断士会:10 名、県:2 名、市:1 名、建設業:30 名、生コン:1 名)

・9 月 29 日(金) 第 8 回コンクリート技術研修会「サンピアセリーズ」13:00～

講演Ⅰ「公共工事の生産性向上について(i-construction)」

門田 隆志 国土交通省四国地方整備局

講演Ⅱ「経年コンクリートの補修・補強について」

濱渦 康博 栄宝生建設(株) 診断士会会員

講演Ⅲ「コンクリート構造物の品質確保の意義―ひび割れ抑制、長寿命の達成、人財育成」

細田 暁 横浜国立大学大学院准教授

投稿記事募集

維持管理に関する、新技術等の情報がありましたら、会員の皆様に紹介して行きたいと考えておりますので、情報提供をお願いします。

新技術に限らなくても、会社PRでも構いませんので、どんどん記事の投稿をお願い致します。

詳しくは、JCD幹事会(メールかわら版担当)まで…